学校番号	１１０１

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	建築構造設計	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	建築構造　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築構造設計では、建築物を設計する場合、日常生活でみられる構造物を観察し、構成や形状を考える必要があります。力は構造物に大きく影響を与えるので、これらの力について考えることは重要です。住宅やさまざまな建築物のほか、住んでいる町に興味関心をもち、安全な暮らしを守るため、丈夫な建築物を設計できるように基礎基本を身につけるようにしましょう。また、建築物をつくり出すためのさまざまな知識や計算技術などについて、理解を深めていくように学習してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
工業に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築構造設計の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、環境に配慮し、合理的に建築設計を行い、その技術を適切に活用している。	建築構造設計に関するさまざまな課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に技術者として適切に判断し、表現する能力を身につけている。	建築設計に関する課題について強く興味・関心を持ち、その改善・向上をめざして自主的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	構造物に働く力	いろいろな建築物 力学的に見た建築物 力の合成と分解 力のつり合い 視点と節点 荷重及び外力 反力の求め方 安定と静定	a:荷重や反力等についての計算問題が適切に解ける b:建築と力学が密接に影響していることを考察している c:興味関心を持ち意欲的に取り組んでいる	定期考査 レポート 確認テスト	確認テスト ワークシート 提出ノート	授業態度 振り返りシート 自己評価
後期	部材に生じる力	構造物に関する力の種類 部材に生じる力の求め方 静定梁 片持梁 静定ラーメン 3ピン式のラーメン トラス部材に生じる力 節点法	a:力の種類が重要な役割であることを理解している b:部材に生じる力が生活に影響していることを考察している c:興味関心を持ち意欲的に取り組んでいる	定期考査 レポート 確認テスト	確認テスト ワークシート 提出ノート	授業態度 振り返りシート 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度